

福助菊の栽培方法

■定植

7月下旬から8月にかけてお届けする「福助菊セット」は定植苗なので、届いたら5号鉢に定植でき、簡単に栽培できます。培養土は鉢の7分目までにとどめ、のちに増土ができるようにします。このとき支柱も立てておきます。定植後、活力剤ウルトラキングを水やりの代わりに与え、しっかりと根づいてきたら菊乾燥肥料小さじ1杯ずつ3か所に施します。

■ピーナイン(矮化剤)の処理

福助作りには矮化剤が欠かせません。矮化剤とは植物をコンパクトに育てるために使用される薬剤のことで、ピーナインが有名です。定植5~7日後に200~300倍に希釈したピーナインを散布します。そのあとは3週間ごとに200~300倍を散布します。蕾が出てきてからは蕾にかからないよう注意し花首に筆などで塗布すると良いでしょう。

■追肥

8月下旬~9月上旬頃に菊乾燥肥料小さじ2杯を与え、その後は10日ごとに小さじ1杯ずつを9月上旬まで与えます。その間、生育状態を見ながら大菊液肥500倍液を追肥します。9月中旬より大菊液肥500倍液を2~4日ごとに与えて最後の追い込みを行います。

■増土

鉢全体に根が回る9月上旬頃に、鉢の表面に1cmほど土を足します。

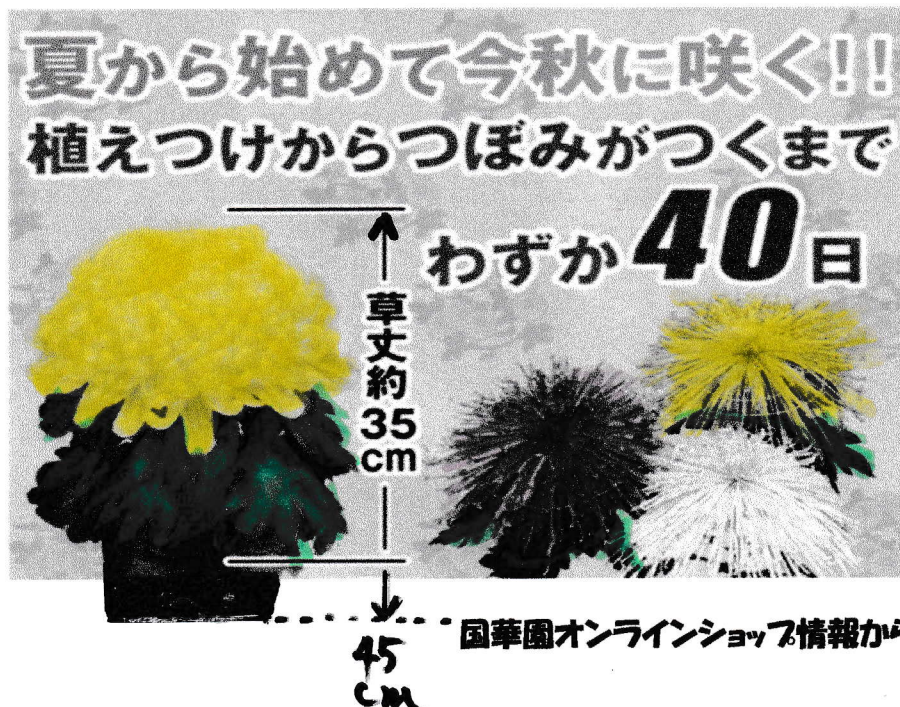
■水やり

小さな鉢で栽培しているので、特に夏の間は乾燥させないように気を付けましょう。また菊は過湿を嫌うので、水のやりすぎにも十分注意してください。

■つぼみの整理

一番最初に出来たつぼみが10mmくらいになったら一番最初のつぼみと1~2段下にあるのつぼみを残して、その他のつぼみは取り除きます。残した1~2段目の蕾は一番最初のつぼみから花びらが正常に出始めたのを確認したら、切り取ります。花弁が色づきだしたら、風雨の当たらないところへ移して開花させます。

夏から始めて今秋に咲く!!
植えつけからつぼみがつくまで
わずか**40**日



草丈約 35 cm

45 cm

国華園オンラインショップ情報から